

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	さがみはら森林ビジョン審議会		
事務局 (担当課)	森林政策課 電話042-780-1401 (直通)		
開催日時	令和4年3月8日(火)～3月18日(金)		
開催場所	書面開催		
出席者	委員	7人(別紙のとおり)	
	その他	—	
	事務局	—	
公開の可否	<input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面開催のため。		
議 題	<p style="text-align: center;">議事</p> <p style="text-align: center;">(1) 令和2年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について</p>		

## 審 議 経 過

主な内容は以下のとおり。

(審議を書面で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、議決の方法等について事前に取り決めを行い、書面により審議会委員等の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

議事

(1) 令和2年度さがみはら森林ビジョン実施計画の進行管理について

事務局より資料及び意見を求める意見書の送付を行った。審議会からの評価・意見に対する事務事業所管課の対応内容の確認と市ホームページへ掲載する評価結果一覧(案)について、書面により審議を行い、次のとおり意見があった。

【「重点事項：その1」に係る審議会からの意見、質疑応答などの内容】

〈事業コード1-2-1 さがみはら森林ビジョン普及・啓発事業〉

(中村委員) オンラインイベントの開催や動画配信など、新しい形での情報発信を期待する。

〈事業コード3-1-1 「(仮称)相模原市市民の森」整備事業〉

(佐藤副会長) 事業名の「(仮称)」について、削除はしないのか。

(事務局) 予定地である石老山周辺が令和元年東日本台風により被災し、当初の計画通り事業を進めることが困難な状況である。現在、できる範囲の中で取り組みをしている状況であるが、今後は計画自体の見直しも検討していく必要があると考えており、名称についてもその見直しの中で整理していきたい。

(杉本委員) イベントの参加者数について、1回につき20人程度を見込んでいるようだが、さらに参加者数を増やすことは可能か。時期によっては、参加希望者が多くなることも考えられるため、市民の方がさがみはら津久井産材や森林に触れることのできる機会を増やしていただきたい。

(事務局) 令和元年東日本台風の被害により、しばらくの間、市民の森内でのイベント開催は難しいと考えている。代替案として挙げられている、オンライン開催や動画配信などであれば20人以上の参加も可能であるため、検討していきたい。

(中村委員) オンラインイベントについては、是非行っていただきたい。  
また、新たに整備した登山道について、市民への周知の方法を具体的に教えていただきたい。

(事務局) 新登山道の周知については、相模湖観光協会がホームページにて周知を行っている。市としても窓口でチラシ配布を行い、周知を図っている。今後は、イベントの際にもチラシを配布するなどして、さらなる周知に努めていく。

#### 〈事業コード3-3-1 企業の森の整備〉

(佐藤副会長) 前回の審議会では、企業に対する働きかけ方などの具体的な体制整備が進んでいないとの説明があった。このような状況では、いつまでも実績を上げることができないため、来年度以降は具体的な体制の整備に取り組んでいただきたい。

(中村委員) 事業を効果的に進めるための取り組みを期待する。

#### 〈事業コード4-1-3 地産地消の促進〉

(佐藤副会長) 前回の審議会にて、オリンピック・パラリンピック会場（ビレッジプラザ）に使用され、返却されたさがみはら津久井産材は、すでにベンチなどに活用されたとの説明があった。しかし、進行管理シートの「今後の方針」欄に記載してある文言は「返却後の利用について検討する。」となっている。これは変更しないのか。

(事務局) 進行管理シート「今後の方針」欄については、令和3年度当初に、今後取り組んでいく事項として記載をしているものであるため、変更は行わない。

(杉本委員) さらにさがみはら津久井産材を使用してもらえるよう積極的にアピールしていただきたい。

(中村委員) さがみはら津久井産材の利用が促進される制度、周知方法の充実を期待する。

(事務局) 今年度実施した「公共建築物等へのさがみはら津久井産材利用促進事業補助金」や「さがみはら津久井産材の家づくり事業補助金」などの事業は、改良を加えたうえで、来年度も実施していく予定である。また、こうした制度については、ホームページへの掲載やチラシの配布などを通して、幅広く周知を図っていく。

#### 〈事業コード5-1-1 私有林整備事業〉

(佐藤副会長) 令和3年度版相模原市環境基本計画年次報告書「さがみはらの

環境」において、水源の森林づくり事業のうち、いきいきとした森林の再生に関する事業として挙げられているものが協力協約のみであった。相模原市の森林整備面積に占める協力協約の割合は、他の水源の森林づくり事業に比べ、少ない状況である。温暖化対策の立場からすると、市内全体の整備状況を発信しなければならないため、他の事業についても記載をしていただきたい。先日開催された相模原市環境審議会でも同じ趣旨の発言をした。

(事務局) 相模原市環境基本計画については、相模原市環境審議会で審議を行っているものである。ご指摘の箇所については、担当課に掲載の趣旨及び相模原市以外の事業者が行っている事業の掲載が可能か確認する。

【「重点事項：その2」に係る審議会からの意見、質疑応答などの内容】

〈事業コード2-3-1 津久井産天板交換等事業〉

(佐藤副会長) 学校机の天板にナラ枯れの被害木は使用できない。ナラ枯れの予防策として、まだ被害に遭っていない木を伐採し、それを天板に使用するという方法を検討していただきたい。

(淵上委員) 現在、ナラ枯れ被害木が学校机に使用できるか、サンプルを作成して検討している。出来れば、大径木のコナラは被害に遭う前に伐採することを検討していただきたい。

〈事業コード4-1-1 さがみはら津久井産材利用拡大協議会の運営支援〉

(佐藤副会長) 緑区鳥屋にある津久井貯木場での買付業者などを増やし、販売を拡大していく必要がある。

〈事業コード4-1-1 公共建築物等への利用促進〉

(佐藤副会長) 伐採した木を木材として利用するには乾燥などの工程が必要であるということや市内の素材生産は間伐材が主であるという現状などを踏まえた上で、予算や発注のシステムを確立していただきたい。

〈事業コード4-1-4 木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進〉

(佐藤副会長) 市内で木質バイオマスに関する需要がどれだけあるのか知りたい。

〈事業コード4-2-3 施業集約化支援事業〉

(佐藤副会長) 施業集約化を進めるため、森林経営管理制度の推進を検討する必要がある。

以上

さがみはら森林ビジョン審議会 出席者名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小山 美佳江	公募委員		出席
2	佐藤 治男	さがみはら津久井森林組合 代表理事組合長	副会長	出席
3	杉本 貴広	有限会社 杉本林業 取締役		出席
4	中島 伸幸	公益社団法人 相模原市観光協会 専務理事		出席
5	中村 行宏	公募委員		出席
6	淵上 美紀子	一般社団法人 さがみ湖 森・モノづくり研究所 代表理事		出席
7	松本 武	国立大学法人 東京農工大学大学院 農学研究院 准教授	会長	出席

(50音順)